

教員養成系大学の地位向上を目指して

清水 茂幸

岩手大学教育学部は、昭和 24 年に学芸学部として創設され、昭和 41 年に教育学部に改称されました。その後幾度かの改組を経て、平成 28 年には学校教育教員養成課程 1 課程(小学校教育コース、中学校教育コース、理数教育コース、特別支援教育コース)の教員養成に特化した目的学部となり、同年に教職大学院を開設しました。本学部は、日本教育大学協会(教大協)が目指す教員養成の質的向上の方針に従い、下記に示すようにカリキュラムの質的改善や実践的な経験の強化に力を入れています。

1.カリキュラムの質的改善:

近年、カリキュラムに最新の教育理論とテクノロジーを活用した教育方法を取り入れる努力を重ねており、特にAIを用いた学習サポートの力を形成できるように「数理・データサイエンス、AI教育」を1年次から学びます。これにより、学部生は最先端の教育ツールを活用しながら、将来の職場で必要とされるスキルを習得できるよう設計されています。また、学部生は1年次から4年次にかけて、教職入門、観察実習、学校体験実習、介護体験実習、そして教育実習(3年次には主要科目、4年次には副免科目)を経験し、教員としての指導力を高めます。最終学年では、教職実践演習を通じて、教員として必要な資質や能力が形成されているかを確認します。

2.実践的な経験の強化:

実践的な経験を強化するために、さまざまな教育環境で教育実習の機会を増やしており、その一環として岩手県内の小規模校で「地域教育実習」を実施しています。この実習は「小規模学校教育論」の講義の一部として行われ、地域の教育事情と課題への理解を深めることを目的としています。さらに、盛岡市立上田小学校や仁王小学校での学習支援ボランティア、矢巾町でのラーニングサポート、スクールトライアルなど、様々な学校体験活動にも積極的に取り組んでいます。

3.研究とイノベーション:

研究とイノベーションを通じて教育方法や学習理論の進展に寄与し、それらの成果を社会に還元する役割を果たしています。2020年には教育実践・学校安全学研究開発センターを設立し、地域の教育課題に対する研究や開発活動を行っています。このセンターでは、「いわての復興教育」や「防災教育」の成果を活かし、地域教育の課題解決や学校安全に関する実践的な研究を推進しています。

4.社会との連携強化:

地域社会や企業との連携を強化しており、様々な教育の現場で直接的な経験を積む機会を提供しています。この取り組みには、地域の民間企業と共同で行うプログラミングコンテストや体験教室が含まれ、これらは教育の重要性を広く社会に伝える目的も持っています。学部生は、これらの活動を通じて実践的な教育課題への対応方法や専門スタッフとの協働を体験し、理論と実践の往還を通じた省察力を養うことができます。特に、岩手日報社との協働により、「全国選抜小学生プログラミングコンテスト」とその地方大会の運営に学生が参画して

います。2020年度には、東日本大震災被災地を含む岩手県内6カ所でプログラミング体験教室を開催し、30名の学生が児童指導の実践力を高めました。また、県大会では、学生が約2ヶ月間チューターとして参加し、実際のイベント運営にも携わっています。これらの活動は、全国でも類をみない「岩手モデル」として、他の教育機関や関係者から高く評価されています。

5.国際化の推進:

国際化の推進も重要な取り組みの一つです。本学部は、国際交流や留学プログラムを充実させ、異文化間の教育手法の交換を通じて教員としての視野を広げることを目指しています。タイ国の中等学校で英語を用いた授業を行う「プアン・プログラム」を設置し、実習生は実践的な授業力と英語運用能力の向上を図ります。このプログラムでは、現地の生徒や教員、大学生との交流も行われ、国際的な教育経験が深まっています。また、岩手県八幡平市に2023年より開講されたハロウィンターナショナルスクール安比校とも交流を行っていますが、今後本学部生が岩手に居ながらにして、国際感覚を身につけられるような交流につなげられるように協定を結んでいきたいと考えます。

6.教員の専門性を高めるための継続的支援:

教員自身の専門性を高め、継続的な学びを支援するプログラムを提供することで、教育の質を向上させることができると考えられます。教員が最新の教育理論や技術を常に学び続けることができる環境を整えることが、教員としての自信と教育効果の向上につながります。まだこの部分に関しては本学部では十分な取り組みができていないとは言えませんが、今後充実させていきたいと考えます。

このように岩手大学教育学部は、理論と実践の往還を図りながら、教員養成の質を向上させ、地域に根ざした教育の提供を目指しています。地域社会や国際社会との連携をさらに強化し、地域に必要とされる教育機関としての役割を果たすことで、これからも教員養成学部の地位向上に努めていきたいと考えます。

(岩手大学教育学部長)